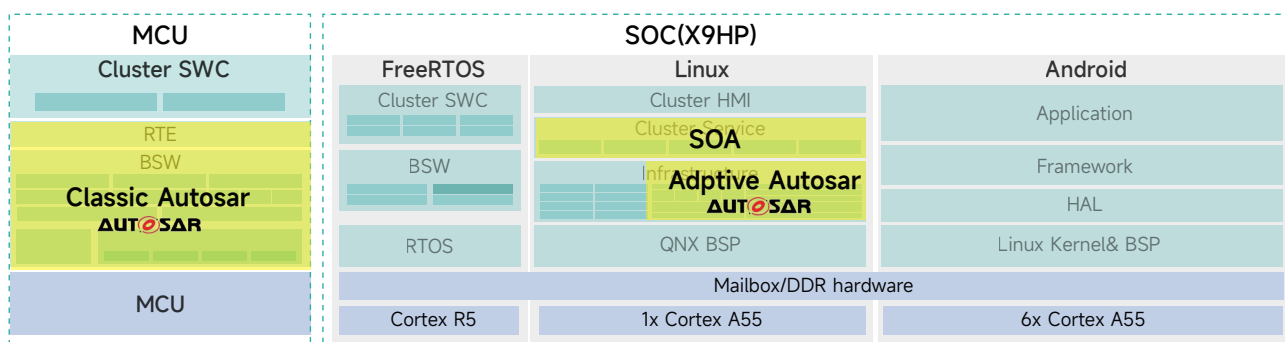


KT SmartCabin (SemiDriveX9)

概要

KCarOSプラットフォームとSemiDriveの車載SoC「X9HP」コックピットドメインコントローラー製品をベースに、MCU～SOC、BSP～APP、HMI設計まで、フルスタック国産化ソリューションを提供します。プラットフォームソリューションはIVI、Cluster、HUDをカバーします。SOAアーキテクチャ設計によってSemiDriveの車載SoC「X9シリーズ」プラットフォームへ迅速に適合させ、費用対効果に優れたコックピットドメインコントローラー製品ソリューションを提供します。

製品アーキテクチャ



01 AOSPのSOAアーキテクチャにも対応し、ドメイン内部・外部の標準通信モジュールを提供する。

02 サービスの分割によってサービスの再利用性を向上させる。

03 AP基準に基づいてミドルウェアのプラットフォームを標準化させて、ソフト・ハードの分離を実現する。

04 複数のプロトコルスタックに向けた通信インターフェースを提供する。

05 Tier1のインターフェースをカプセル化して、ハードのインターフェースの差をマスクする。

06 独自のSafetyとSecurityドメイン、技術サポート。

核心機能展示

光庭の優位性：

品質： SemiDriveの車載SoC「X9シリーズ」のPTG4.0/4.1ベースラインを熟知。SOC起動、パーティション、表示、通信、アニメ、AVM等の基本的なドライバとアプリの開発・デバッグにおいて経験を持っている。量産に向けた課題の検討に参加して、課題の解決に協力したため、ベースラインへの適合の品質を保証できる。

コスト： 主として車載SoCのメーカーとのコミュニケーション及び問題の解決にかかる費用。

量産プロジェクトで良好な協力関係を築いたため、SemiDrive FAEと電話/WeChatで密に連絡をとっており、SemiDrive社と戦略的協力関係を確立した。問題発生時、即時対応できる。

日程： 量産プロジェクトで蓄積してきた半導体とSemiDrive SOCとの適合の経験により、SOCシステムBringUPを迅速に対応できる。（表示：Maxim/TI等、格納：Micron/Samsung等、DSP：NXP SAF776D/4000）

プラットフォーム化： X9プラットフォームのコードベースライン、コンパイル・インテグ自動化環境、システム要件ドキュメント、システムアーキテクチャドキュメント、モジュール詳細設計ドキュメント。

技術スタック： CP（CAN/LIN/NM）、AP（ALL）、AVM、HMIフレームワーク（KANZIベース）、Android（FW：CarServer/VHAL/IPCC、APP：systemUI、launcher、Media、DVR）（コックピット）

芯驰 SemiDrive



KOTEI

国内自動車規制チップ

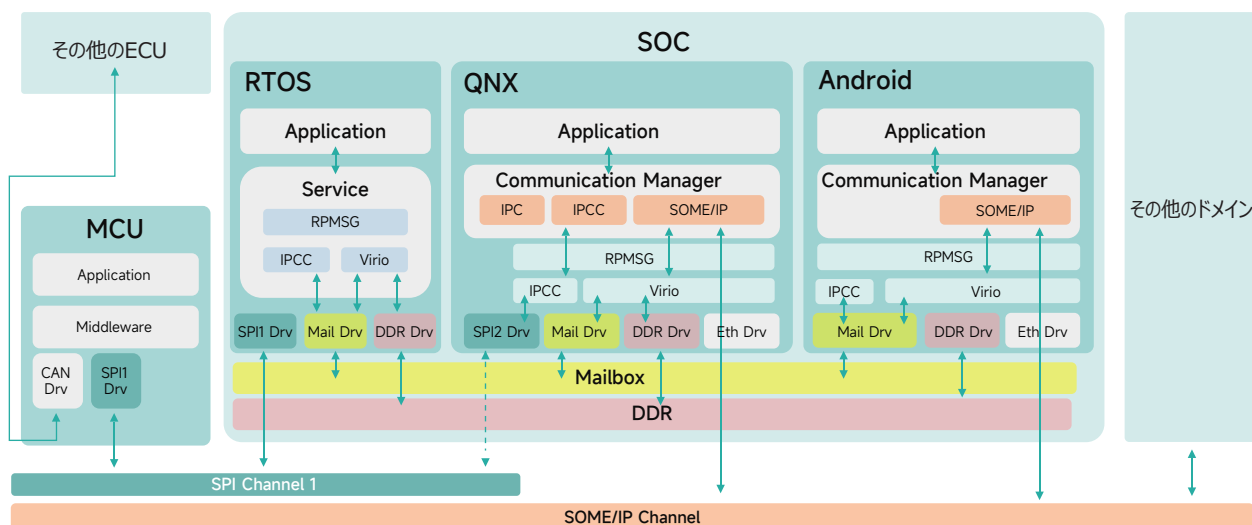
業界のリーディング企業

業界をリードする自動車用

電子ソフトウェアプロバイダ

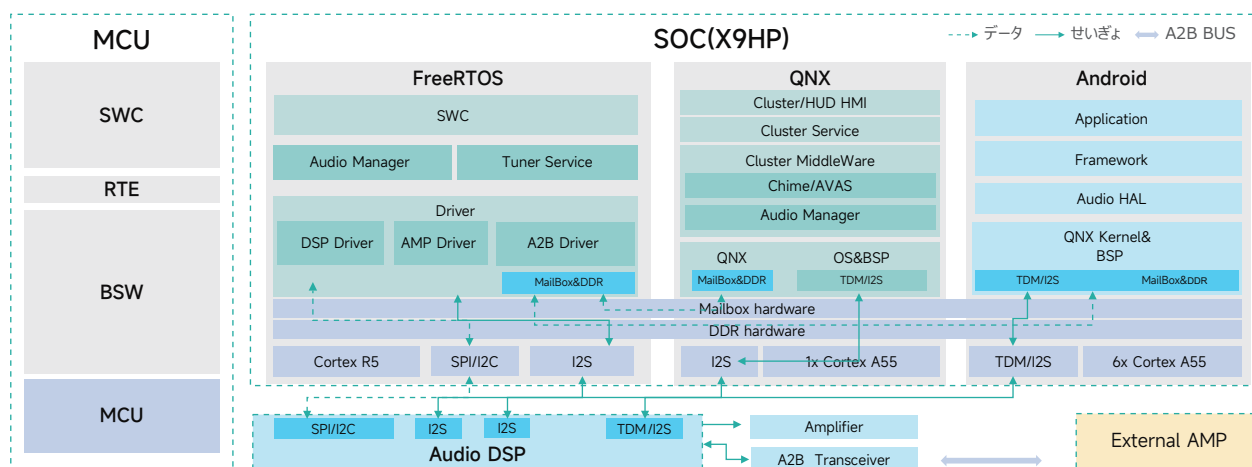


技術サポート&コア技術



通信アーキテクチャ設計

- サービス指向通信アーキテクチャ
- 複数の通信プロトコルに対応



オーディオアーキテクチャ設計

- サービス指向オーディオアーキテクチャ
- 国内外の主なオーディオシナリオの要求に対応

成功事例

顧客	開発環境	スコープ	車種
X 社	ハードプラットフォーム : SemiDrive X9S Plus OS : QNX +Android 12 HMIエンジン : Kanzi	コックピットドメインコントローラーソフトウェア全体の開発	
吉利	ハードプラットフォーム : SemiDrive X9H Plus OS : QNX +Android 12 HMIエンジン : Kanzi	Clusterの開発	
X 社	ハードプラットフォーム : SemiDrive X9H Plus OS : QNX +Android 10 HMIエンジン : Kanzi	コックピットドメインコントローラーソフトウェア全体の開発 HMI設計 & 開発	